

# 広報かがわ

第97号

編集発行

香川自治会  
広報委員会  
興版印刷所

香川の人口	9,749人
男	4,854人
女	4,895人
香川の世帯数	2,850世帯
現在	63.5.1

## 文化の向上と環境の整備

### 六十三年度活動方針まとまる

「明るい、住みよい香川の町づくり」をめざして、香川自治会は昭和六十三年度の活動を開始しました。

今年度は役員の改選期であり、各町内会から新鮮な方々



私は二期四年の自治会長をつとめてまいりましたが、この度三期目をまたお引受けいたしました。今までの間充分でなかった面を再度確認して地域が少しでも良くなるよう一生懸命努力していきたいと思っております。どうか皆様方のご協力をお願いする次第であります。さて、香川はいま自然と緑が少なくなっています。自然性を今後減らさずに保全していくためには、新たな創造によって自然環境を補ってゆく、そのようにして自然を守り、それを基調にしていきたい

#### 基本目標

「明るい住みよい香川の町づくりのため、文化の向上、環境の整備、充実をはかっています。そのためには各町内会の活動を活発にし、地域住民の親睦とふれあいを深め、自治会活動を進めていく。

以下昭和六十三年度の活動計画の概略をお知らせ致します。

#### 事業の具体策

##### 一、道路整備の促進

市に對しての要望や陳情、地域に對しては清掃美化運動、ゴミ収集対策、自主防災訓練、交通安全対策、防犯灯の設置維持管理、道路の補修、下水処理対策、また対外的には皆様方の会費の中から赤十字募金や、年末たすけ合い運動等の各種募金、自治会館の運営

## 住みよい香川を誇りに

自治会長 熊沢幸一

とがよいことだと思っております。先日の総会の中からも植樹に関心を持っていらっしゃる方がおられ、私は日常無関心であったことに気づきました。さて、自治会執行部も昭和六十三年度の新役員が決定いたしました。評議員会も開かれ、種々活発な討議がなされ、

維持、広報かがわの発行、盆踊大会、文化祭、敬老会等、このようにして毎年かかせない行事が多種多様にわたってあります。労務の負担や、自治会費の出費等は多大であります。また一地域に目を向けたとき、人口増加に伴い、市街化傾向にある中で住民意

香川自治会の活動に関するご意見、ご要望等が、ございましたら、自治会長あるいは自治会役員あてに、お申し出ください。

### おねがい

- 二、下排水処理対策
- 三、生ゴミ処理器の普及促進
- 四、市政への折衝
- 五、自治会の組織強化を計るための会則の見直し、及び特別委員会の設置
- 各委員会の事業計画
- 一、環境整備委員会
  - ・防犯灯の点検、充実・ゴミ処理対策・安全対策、整備
  - ・環境美化運動の促進(町内一斉清掃、駅前清掃、水路清掃、美化運動作文ポスター展、海岸清掃)・道路点検整備
  - ・衛生管理と環境の向上・掲示板等の点検、整備
- 二、広報委員会
  - ・広報かがわ第九七号(第一〇一号)の発行と広報活動
- 三、文化厚生委員会
  - ・盆踊り大会(八月十四日、十六日)・敬老大会(十月九日、柳島記念館)・文化祭(十一月二、三日、作品展示会、菊花展、諸団体の協力として、マラソン、ゲートボール大会、わら芸、バトントワラー、福引大会、模擬店等)
  - ・香川文庫への後援
- 四、消防委員会
  - ・火災消火活動・災害対策、組織整備・定例訓練及び研修会
  - ・年末火災特別警戒
  - 五、町内会活動
    - ・町内会組織の強化・環境整備の充実・転入、転出者の把握・体育行事への協賛



## 駅前美化活動行わる

乗降客が一日平均五千人、我々の表玄関である相模線の香川駅の周辺は、環境整備委員会が主体となって行われております。今年度も第一回の清掃美化活動が、去る五月十五日(日)午前九時から、役員が中心の約六十名が参加して行われました。駅周辺の除草、ごみ拾い、そして、ベコニア、サルビア等、草花の苗の植付けと相応の仕事の量でし



生ゴミ処理の工夫を!!  
次回(七月ごろ、以下九月十一月と予定しています。日程等は月始めの回らんで通知しますので、香川の町づくりとふれあいを深めるため多数の方の参加をお願いします。

### 盆おどり



老いも、若きも 第一青少年広場に集まりましょう。  
八月十四日(十六日) 十九時三十分(二十二時) 協力団体  
香川体育振興会、香川地区子供会、香川青少年育成協議会、香川消防団、香川婦人会、香川商興会、祭ばやし愛好会  
\* \* \* \* \*  
たが、環境整備委員の手際よい段取りで進められ、午前十一時ごろには、見ちがえるほど、きれいな香川駅になりました。  
環境整備委員長、服部賢治さんの話  
次回は七月ごろ、以下九月十一月と予定しています。日程等は月始めの回らんで通知しますので、香川の町づくりとふれあいを深めるため多数の方の参加をお願いします。

<コンポエース>



# 昭和63年度役員紹介

- △自治会会長 熊沢幸一 ③  
副会長(各町内会長兼務) 花元 志 ①
- △総務委員長 住吉義男 ②  
副委員長 山下只義 ③  
古谷金政 ④  
石嶋一男 ④
- △会計委員長 杉井真一 ②  
副委員長 岡田良夫 ④  
岡田良夫 ④  
渡辺増枝 ③
- △文化厚生委員長 下四日市 敬 ③  
副委員長 藤巻英一 ③  
熊沢雪子 ③
- △広報委員長 熊沢雪子 ③  
副委員長 服部賢治 ④  
石塚良雄 ④  
亀井 有 ②
- △消防委員長 田中 徹 ①  
副委員長 浜田健三 ③  
池田武夫 ①  
亀井隆義 ③
- △顧問 亀井隆義 ③
- △評議員 大内はる ①  
磯 為治 ①  
増山五郎 ①  
長沼和夫 ①  
目黒和彦 ①  
吉田滋四郎 ②  
萩原敏男 ②  
椎名敏也 ②  
山崎兵代治 ②  
田口金次郎 ③  
品川徳治 ③  
関根紀幸 ③  
斉藤兵治 ④  
石井 栄 ④  
菊地 仁 ④  
新倉良和 ④  
三橋義夫 ④  
岡本貞雄 ④

## 香川の史跡シリーズ

ふだん何げなく通り過ぎてしまふ所でも、古い歴史があり、今でも道祖神の前では「どんどんど焼き」が行われています。北部の丘陵には、古墳時代の横穴墓がいくつも残されています。これからシリーズで香川の史跡を紹介いたしますので、買物や散歩のついでに、ちょっと足をとめてみてはいかがでしょうか。

## 勘重郎堀

下寺尾の駒寄川から取水し、香川の篠山、篠谷の間を通り南下して玄瑠寺の西、諏訪神社の北を通り、用水路は更にイサミ屋の前から南へと掘り続けられた。

今から約二百年前のことである。香川の水田は雨水だけに頼る天水場、干ばつの年は稲の不作で年貢米にもこと欠く状況であった。名主の三橋勘重郎は下寺尾に交渉して駒寄川から水路を引かせてもらい、香川の農民はやっとといきついたのがあった。今は香川では水田はわずかに残

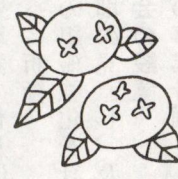


っているのみで、残る堀の一部は下水路になってしまっている。

勘重郎はその後、年貢米のことで直訴し、願いは入れられたが、勘重郎は処刑されてしまった。その供養塔は浄心寺境内に、墓は香川二三八〇番地にある。

- △伝達員 岸田フミ ④  
山口武広 ③
- △自治会館 山口武広 ③
- △町内会役員 (第一町内会) 戸村 久  
副 大房三郎  
総務 岡部清次 会計 津田キミ子  
文化厚生 阿部 茂 加藤初江  
広報 織田武司 津田キミ子  
環境整備 岸 武 佐藤智康  
衛生嘱託 西山信吉 歌川繁雄  
地区会計 守屋二郎 松本由美子  
小林節子
- (第二町内会) 村山 幸  
副 杉井真一  
総務 勝又嘉久 会計 武井すみ子  
文化厚生 遠藤妙子 武井すみ子  
広報 渡辺良一 鈴木玲子  
環境整備 斉藤次生 松本光弘  
衛生嘱託 熊澤利泰 松雪雅子  
地区会計 飯田 正 中村博子  
高橋 功 越石隆三
- (第三町内会) 柳沢宗一  
副 坪田種男  
会長 山下只義  
総務 亀井幸夫 会計 坪田種男
- (第四町内会) 熊沢政吉  
副 岡田良夫  
総務 小沢良一 会計 岡田良夫  
文化厚生 菱科静江 松浦紀栄  
広報 岩本和代 岩田佐智子  
環境整備 熊沢寿雄 岩沢すす子  
衛生嘱託 石塚良雄 鍋谷義清  
服部賢治  
地区会計 加藤直義 小出 隆  
新倉栄一 奥田美由紀

(注) ○の数字は町内会



## 昭和63年度香川自治会予算

昭和63年度予算				自治会館特別会計			
収入の部				支出の部			
科 目	金額	科 目	金額	科 目	金額	科 目	金額
繰越金	268,276	町内会活動費	560,000	繰越金	452,169	償却引当金	200,000
正会員会費	7,794,000	広報委員会	620,000	会館使用料	700,000	水道・光熱費	200,000
特別会員会費	168,000	環境整備委員会	440,000	雑収入	70,000	通信費	66,000
交付金、補助金	2,080,000	文化厚生委員会	720,000	一般会計繰入金	1,300,000	消耗品費	21,000
交付金、受取利息	300,000	消防委員会	500,000	合計	2,522,169	備品費	50,000
雑収入	200,000	総務委員会	200,000			清掃費	46,000
合計	10,810,276	会計委員会	15,000			維持費	200,000
		支 出				報酬手当	990,000
科 目	金額	募金、協賛金	1,700,000			雑	749,169
会議費	200,000	各種団体助成金	280,000	合計	10,810,276	合計	2,522,169
事務用品費	250,000	体育振興会	250,000				
旅費交通費	200,000	特別会計支出金	1,300,000				
交際費	100,000	機器、什器、備品費	60,000				
報酬手当	693,000	会館償却引当金					
防犯灯光熱費	1,020,000	消防詰所積立金					
防犯灯修理費	605,000	予備費					
防犯灯対策費	5,000	合計	1,700,000				
防廃物対策費	300,000	次期繰越金					
防炎費	64,000						
防通信費	170,000						

(昭和63年5月8日 評議員会)

### おくやみ

63年	4月30日	4月27日	4月18日	5月7日	5月17日	5月21日	5月23日	5月28日
第三町内	三橋一郎殿	第四町内36	第三町内	田中キヨ子殿	第四町内6	第二町内	水島隆夫殿	第四町内
第三町内	原カネ殿	第三町内	松尾寿美子殿	第一町内	第三町内	重松直治殿	第三町内	新倉トシ殿
第三町内	石井やす殿	第三町内	松尾寿美子殿	第一町内	第三町内	重松直治殿	第三町内	新倉トシ殿
79才	15才	84才	73才	34才	70才	87才	70才	83才

謹んでお悔み申し上げます。